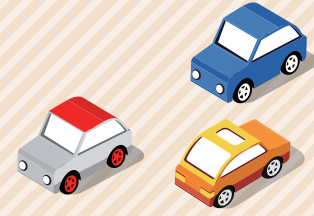


文部科学省平成30年度
「私立大学研究ブランディング事業」採択



最先端運転知能システム

要素技術グループリーダー(自動車)

自動車システム開発工学科 井上 秀雄教授

- ドライブの「安心」と「楽しみ」を両立
- 「かもしれない運転」で見えないリスクを予測・回避
- 「生活の満足度」につながる運転支援



安心 生きがい
サポート サポート

地域健康診断システム

要素技術グループリーダー(ロコモ)

ロボット・メカトロニクス学科 高橋 勝美教授

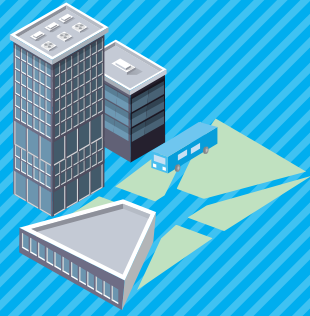
- キオスク型端末「健幸 ai ちゃん」でロコモ診断と認知機能をまとめて測定
- 健康診断や運動指導で「生きがい」を支援



健康 生きがい
サポート サポート

研究ブランディング事業

全国のモデルとなる
先進高齢者支援システムの
開発と地域への貢献を
実現します

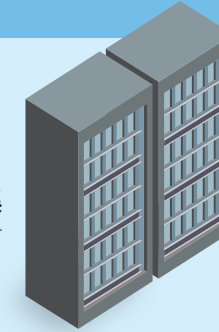


AIシステム

システム構築リーダー 情報工学科 松本 一教教授

- ロボット・IoT・自動車・ロコモ・看護の各システムの情報を収集
- AIで分析・判断し「健康」「安心」「生きがい」を支援するKSC-P(Kanagawa Smart Care Platform)を構築

スマート・ケア・プラットフォーム(KSC-P)



コンソーシアム形成と利用実験

本プロジェクトに参加する自治体(政策協働)、地域企業(ビジネス連携)、地域住民(サービス利用)、在学生(実学教育の機会)、高校生(進路・興味発見)等によってコンソーシアム KSC-C(Kanagawa Smart Care Consortium)を形成し、KSC-Pを基盤とした実証実験を行います。

スマート・ケア・コンソーシアム(KSC-C)

サービス提供

KSC-Cを持続・発展させ自治体の政策に沿う形で参加企業と連携し、神奈川高齢者支援システムとして地域住民へサービスを展開し、地域の課題解決への貢献を目指します。

地域社会への展開

申請157大学中、採択20大学
(タイプAの理工系では2大学)



高度見守りシステム

要素技術グループリーダー(IoT)

ホームエレクトロニクス開発学科 一色 正男教授

- 家電を操作するだけで、自然に生活情報を収集
- 「安心」して一人で暮らせる空間
- AIで危険・事故の回避を支援



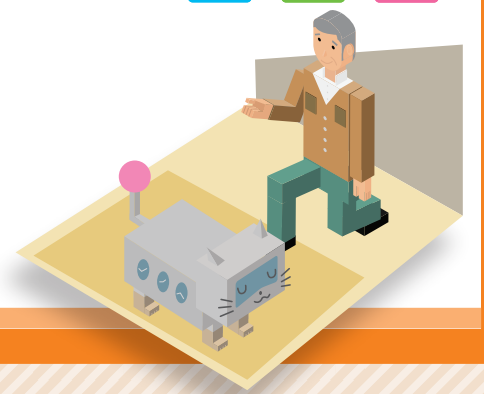
安心 生きがい
サポート サポート

ふれあいロボットシステム

要素技術グループリーダー(ロボット)

ロボット・メカトロニクス学科 兵頭 和人教授

- スキンシップで心と体の状態を測定
- 会話を楽しみながら体調管理や運動促進を支援



健康 安心 生きがい
サポート サポート サポート

看護の知見でシステムサポート

要素技術グループ(心理)

- 「健康」「安心」「生きがい」を看護の視点で支援



生きがい
サポート

「健康」「安心」「生きがい」を多面的、包括的に支援する神奈川高齢者支援システム KSCS(Kanagawa Smart Care System)

